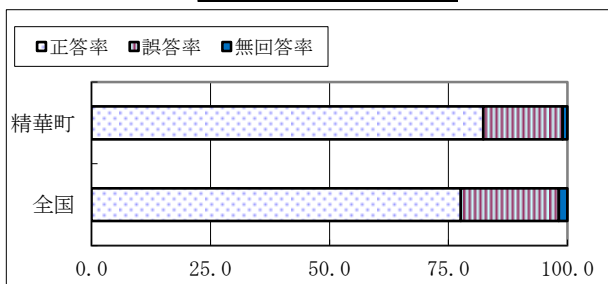


小学校算数科

正答率の比較

A問題



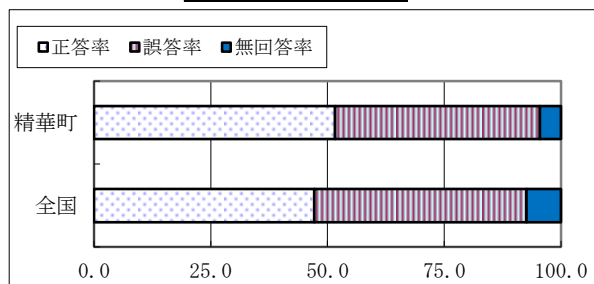
■国の状況

正答率は約77.6%であり、相当数の児童が今回出題された学習内容を概ね理解しています。

■精華町の状況

全国との関係において、良好な結果であり、無回答率も低い状況にあります。

B問題



■国の状況

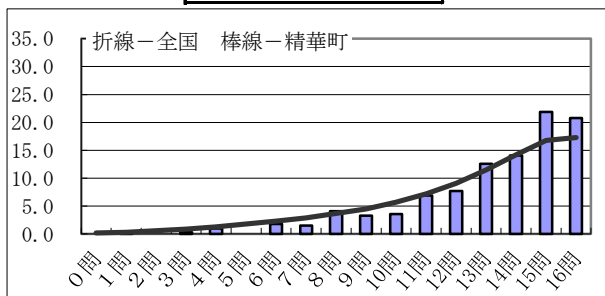
正答率は約47.2%であり、知識や技能を活用する力に課題があります。

■精華町の状況

全国とほぼ同じ傾向にあるが、全体的には上っており、無回答率も低い状況にあります。

正答数の分布比

A問題



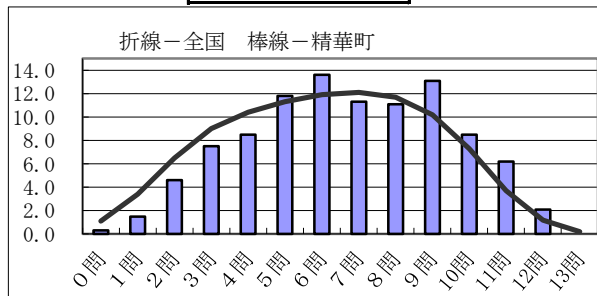
■国の状況

正答数は15問・16問をピークとする右寄りの山型に分布しています。

■精華町の状況

全国との関係において良好な結果であり、上位層の分布が高い傾向にあります。

B問題



■国の状況

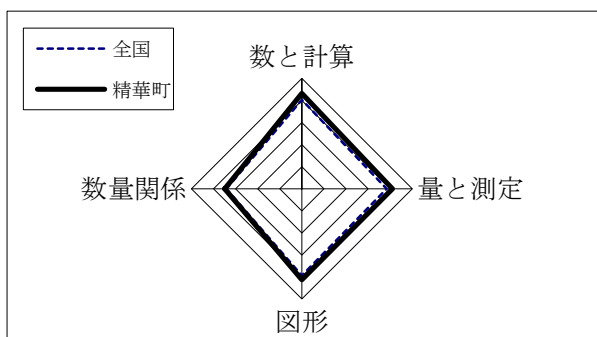
正答数は7問から8問をピークとする山型に分布しています。

■精華町の状況

2つの山があり、分布のバラつきが見られます。下位層に課題が残ります。

領域・視点の比較

A問題



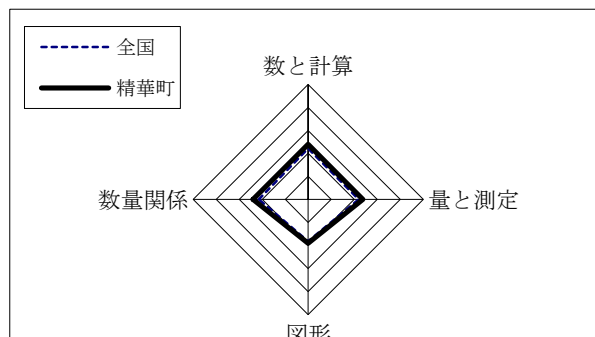
■国の状況

数量関係に少しの課題が見られますが、概ね、基礎基本がバランスよく習得できています。

■精華町の状況

全国と比較して、外側に分布しており、基礎基本が良好な状態で、バランスよく習得できていると言えます。

B問題



■国の状況

活用問題においては、全体に得点率が低く、特に図形に課題が残ります。

■精華町の状況

全国平均と同様の傾向が見られますが、各領域において、全国の値より外側に分布していません。